

第7回環境やまがた大賞受賞

贈呈式は、平成18年6月27日(火)に知事室において行われ、知事から表彰状が手渡されました。

受賞団体の概要

お古紙ください協議会(山形市)

活動(功績)の概要

単独回収しにくい中小規模の事業所を集団化し、スケールメリットを活かした古紙の分別回収と再利用のリサイクルシステムの構築により、ごみ減量化を図るとともに、環境面で企業が地域社会に貢献することを支援している。

また、古紙回収による余剰金を活用し、環境美化活動にも取り組んでいる。

受賞理由

古紙の単独回収が困難な中小規模の事業者向けに集団化によるスケールメリットを活かし、回収料金を抑えた古紙回収システムを提供している。事業者に対し環境問題への意識啓発を行っているほか、古紙回収による余剰金を活用し、商店街や観光地にプランターを設置する事業を地域と協働で実施している点が評価できる。

新庄市立北辰小学校(新庄市)

活動(功績)の概要

校庭内にある樹齢300年余りのけやきの他、50種類の樹木を利用した環境教育、指首野川に生息するイバラトミヨの保護活動、地域の特性を活かしバイオマスを活用した環境教育など多様な環境活動に取り組んでいる。



(学校のシンボルのけやき)



(イバラトミヨの保護活動)

受賞理由

落葉のバイオマス利用による堆肥化やイバラトミヨの生態調査・保護活動など、恵まれた自然環境を活かした活動を行っている。各教科に「環境」を絡ませカリキュラムを作成し、環境教育を小学校の学習の中心テーマとしている。

さらに、省エネルギー等の取り組みをPTA新聞で情報発信し、家庭での実践につながっている点が評価できる

不伐の森に親しむ会(長井市)

活動(功績)の概要

「不伐の森」を保全するため、間伐・下刈り・枝打ち作業、苗木の植樹、「不伐の森」地内の大石沼の浚渫などの環境保全活動を実施している。

また、一般市民が里山に親しめるよう「不伐の森の交流イベント」を実施し、森の楽しさと大切さを伝えている。



(不伐の森保全活動)

受賞理由

長井市が制定した「不伐の森」の保全活動を有志により開始。その後、会員だけでなく広く一般に参加を呼びかけながら、四季を通じた地元資源を活用したイベント・交流会を実施している。

さらに、単独の活動だけでなく、各種団体とネットワークを結成し、協働で活動を行っている点が評価される

酒田市立琢成小学校(酒田市)

活動(功績)の概要

動植物の命の営みを感じてもらうために、PTA 活動の一環として校内にビオトープを設置し、自然体験学習の場としている。その体験から、エネルギー教育を学校経営の柱に位置づけることに発展し、多様な環境学習を実践している。

また、リサイクルをテーマにしたオリジナルのミュージカルを作成し、発表を行ったほか、環境団体や企業等と協働した活動を積極的に実施している。



(ビオトープの観察)



(環境を題材としたミュージカル)

受賞理由

学校敷地内にビオトープをつくり、自然体験学習を実施している。ビオトープづくりから発展し、エネルギー教育を学習テーマの柱に位置づけることとなり、独自にカリキュラムを設定し、多様な環境教育を実施している。児童会活動でも節電などの省エネルギー活動を自主的に実施しているほか、家庭や地域への省エネルギーの呼びかけや環境学習を提供する地域企業を積極的に活用するなど地域と一体となった取組みが評価できる。